

## 兵庫県のミズギワゴミムシ類

森 正人<sup>1)</sup>

### はじめに

水辺に行くと必ず出会える小さなゴミムシ。今回は兵庫県に分布するミズギワゴミムシ亜科 Bembidiinae に属する種類を整理しておきたい。県内にはコミズギワゴミムシ族 Tachyini の 7 属, ミズギワゴミムシ族 Bembidiini 3 属の記録があり, 残念ながらハマベゴミムシ族 Pogonini の記録は確認されなかった。

いつもどおり掲載記録は種ごとに文献記録と標本記録に分け, 文献記録については記載された県内の記録地名と出典情報を明記した。標本記録については, 筆者実検したもの, 手許にある県内標本のなかから, 原則 1 産地 1 例とし, 採集頭数・採集地・採集データを明記した。採集者については, 筆者以外のものは採集者名を明記し, 筆者採集のものはこれを省略した。生息環境や生態情報, 全国分布, 基産地情報などについても知り得た範囲で記述した。また, 形態や色彩による特徴についても, 出来るだけふれるように心がけた。学名は概ね Löbl・Smetana(2003) に従った。種名末尾の「ゴミムシ」はしばしば省略する。

### 各種解説

#### コミズギワゴミムシ族 Tribe Tachyini

##### ホソコミズギワゴミムシ属 Genus *Lymnastis*

日本では 3 種が知られており, 県内には種が特定されていない以下の記録があった。

##### 1. ホソコミズギワゴミムシ属 *Lymnastis* sp.

【文献記録】芦屋市芦屋川河口 [河上康子・稲畑憲昭, 2000]

この属は体表が細毛で覆われておりやや特異である。生息環境は水辺と思われるがよくわからない。

##### チビミズギワゴミムシ属 Genus *Polyderis*

日本では 2 種が知られており, 県内では以下の 1 種を確認した。

##### 2. チビミズギワゴミムシ *Polyderis microscopicus* Bates, 1873

【標本記録】 1ex, 加古川市野口町, 21-V-2007.

体長は 1.5mm 程度で, 日本で最も小さい種類のひと

つ。少ない種類ではないが, 小さくて見つけにくい。水辺よりも林縁部の湿った落葉下などで見かけることが多い。本州, 四国, 九州, 南西諸島に分布している。

##### オビコミズギワゴミムシ属 Genus *Tachys*

日本では 12 種ほどが知られており, 県内では以下の 4 種を確認した。

##### 3. ウスイロコミズギワゴミムシ *Tachys (Paratachys) pallescens* (Bates, 1873)

【文献記録】猪名川町木間生 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 川西市大和 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 3exs, 養父市八鹿町宿南 (円山川), 24-IX-2011; 2exs, 養父市ハチ高原, 5-V-2012; 2exs, 三木市シビレ山, 4-V-2002.

日本では北海道, 本州, 九州に分布する。

##### 4. クロオビコミズギワゴミムシ *Tachys (Paratachys) fasciatus uenoi* Tanaka, 1960

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 猪名川町木間生 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 川西市大和・神戸市西大池・東垂水・猪名川町木間生・南淡町吹上浜 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 2exs, 養父市八鹿町宿南 (円山川), 24-IX-2011; 1ex, 三田市香下, 20-IX-2002; 2exs, 三木市シビレ山, 4-V-2002; 2exs, 赤穂市千種川河口, 30-VIII-2009; 1ex, 加古川市加古川下流, 28-V-2010.

日本では本州, 四国, 九州に分布する。名義タイプ亜種は種子島以南に分布する。

##### 5. ウスオビコミズギワゴミムシ *Tachys (Paratachys) sericans* (Bates, 1873)

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 猪名川町木間生 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 猪名川町 Uehamaike・広野・野尻川・猪淵川・神戸市西大池・東垂水・甲東園・芦屋市芦屋川河口 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 6exs, 香美町ハチ北高原, 19-V-2012; 5exs, 宍粟市音水湖, 14-VIII-2010; 4exs, 神戸市カヲト, 28-VI-1998; 4exs, 神戸市有野町八多, 22-VIII-1987; 1ex, 神戸市藍那, 3-VI-2002;

<sup>1)</sup> Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

2exs, 加西市段下町, 23-V-1999; 2exs, 三田市羽束川, 6-X-2000;  
3exs, 三木市シビレ山, 4-V-2002; 2exs, 三原町上田池, 6-X-2001.  
日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する.

6. トカラコミズギワゴミムシ *Tachys (Paratachys) troglophilus* (S.Ueno, 1953)

【標本記録】 3exs, 神戸市カラト, 28-VI-1998; 4exs, 洲本市鮎屋川, 19-IX-1998; 3exs, 三原町成相谷, 26-IX-1998.

日本では本州, 四国, 九州, 南西諸島の一部に分布する. 基産地はトカラ宝島. ナガチビゴミムシ類 *Trechiana* などが見られる地下浅層の湿った礫間で得られることが多い.

アトオビコミズギワゴミムシ属 Genus *Porotachys*

日本には以下の1種が知られている.

7. アトオビコミズギワゴミムシ *Porotachys recurvicollis* (Andrews, 1925)

【文献記録】 神戸市舞子浜 [河上康子・稲畑憲昭, 2000]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 猪名川町河床口~宝塚市長谷 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 猪名川町川床口~宝塚市長谷 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 2exs, 養父市八鹿町宿南 (円山川), 24-IX-2011; 2exs, 宍粟市音水湖, 12-VII-2014; 4exs, 揖保川町野田 (揖保川), 16-X-2011; 2exs, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 4-XI-2004.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する.

モンコミズギワゴミムシ属 Genus *Tachyura*

日本では15種ほどが知られており, 県内では以下の5種を確認した.

8. クリイロコミズギワゴミムシ *Tachyura (Sphaerotachys) fumicata* (Motschulsky, 1851)

【文献記録】 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 川西市大和 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 川西市大和・神戸市東垂水 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 2exs, 三田市羽束川, 6-X-2000; 2exs, 神戸市道場武庫川, 3-V-1996; 3exs, 小野市万願寺川, 2-V-1999; 2exs, 宝塚市武田尾, 30-IV-2011; 3exs, 三原町論鶴羽山, 29-IX-2001.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に分布する.

9. ウスモンコミズギワゴミムシ *Tachyura (Tachyura) fuscicauda* (Bates, 1873)

【文献記録】 氷上郡 [山本義丸, 1958]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 豊岡市 [高橋匡, 1982]; 明石市松江海岸・明石川河口・神戸市舞子浜・芦屋市芦屋川河口・西宮市御前浜・甲子園浜 [河上康子・稲畑憲昭, 2000]; 猪名川町木津・南田原・河床口~宝塚市長谷・広根・川西市西畦野・小戸・呉服橋・西宮市甲山・伊丹市東園田藻川 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 川西市笹部・西畦野・明石市 NakayagiCoast・芦屋市芦屋川・姫

路市市川河口・夢前川河口・猪名川町広根・野尻川・猪淵川・南田原・木津・伊丹市東園田藻川・加古川市加古川・神戸市東垂水・舞子浜・西宮市甲山・甲子園浜・御前浜・宝塚市武田尾・高砂市加古川・芦屋市芦屋川・明石市松江浜神戸市西大池・東垂水・猪名川町木間生・南淡町吹上浜 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 3exs, 香美町ハチ北高原, 5-V-2012; 16exs, 豊岡市気比川河口, 29-VIII-2011; 4exs, 宍粟市音水湖, 20-VII-2014; 3exs, 市島町竹田川, 3-IV-2010; 3exs, 三田市羽束川, 6-X-2000; 2exs, 神戸市道場武庫川, 28-IX-1996; 6exs, 宝塚市武田尾, 30-IV-2011; 3exs, 神戸市藍那, 12-VII-2002; 12exs, 三原町上田池, 29-IX-2001; 3exs, 洲本市鮎屋川, 19-IX-1996.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 水辺に限らず林縁部などの落葉下にも多く見られる.

10. ヨツモンコミズギワゴミムシ *Tachyura (Tachyura) laetifica* (Bates, 1873)

【文献記録】 氷上郡 [山本義丸, 1958]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 豊岡市 [高橋匡, 1982]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 明石市松江海岸・芦屋市芦屋川河口・西宮市甲子園浜 [河上康子・稲畑憲昭, 2000]; 尼崎市猪名寺・木間生・川西市大和・西畦野・小戸呉服橋・伊丹市東園田藻川 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 猪名川町広根・野尻川・猪淵川・伊丹市田能・東園田藻川・加古川市加古川・川西市大和・東畦野・芦屋市芦屋川・神戸市東垂水・西宮市甲子園浜・御前浜・篠山市浜谷 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 2exs, 香住町矢田川, 5-V-2012; 2exs, 城崎町桃島池, 13-VIII-2001; 3exs, 豊岡市気比川河口, 29-VIII-2011; 4exs, 宍粟市音水湖, 14-VII-2014; 1exs, 養父市ハチ高原, 30-VIII-2011; 7exs, 赤穂市北野千種川, 9-VII-2011; 3exs, 神戸市道場武庫川, 28-IX-1996; 3exs, 加西市段下町, 14-IX-2010; 5exs, 加古川市加古川河口, 3-X-2009; 5exs, 尼崎市善法寺藻川, 13-X-2012.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 河川や湿地などで個体数が多い.

11. ヒラタコミズギワゴミムシ *Tachyura (Amauratachys) exarata* (Bates, 1873)

【文献記録】 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 西宮市武庫川河口 [河上康子・稲畑憲昭, 2000]; 猪名川町木間生・川西市大和・笹部・呉服橋 [安井通宏・初宿成彦, 2011]; 神戸市道場・川西市笹部・大和・神戸市大石・甲東園・波賀町赤西溪谷・西宮市武田尾・南淡町吹上浜 [安井通宏, 2012].

【標本記録】 2exs, 香住町矢田川, 5-V-2012; 5exs, 市島町竹田川, 3-IV-2010; 5exs, 赤穂市北野千種川, 9-VII-2011; 3exs, 神戸市道場武庫川, 18-VI-1994; 5exs, 加古川市加古川河口, 28-V-2010;

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 各地に多い.

12. チャイロコミズギワゴミムシ *Tachyura (Amauratachys) lutea* (Andrews, 1925)

【標本記録】2exs, 加西市段下町, 8-XI-2000; 1ex, 神戸市北区道場武庫川, 30-IV-2011; 2exs, 宝塚市武田尾, 30-IV-2011.  
日本では本州, 四国, 九州に分布する.

マルコミズギワゴミムシ属 Genus *Elaphropus*

日本では4種が知られており, 県内では以下の2種を確認した.

13. キイロマルコミズギワゴミムシ *Elaphropus latissimus* (Motschulsky, 1851)

【標本記録】2exs, 加西市段下町, 16-X-1999; 4exs, 稲美町加古大池, 30-XI-2008; 3exs, 小野市青野ヶ原, 11-X-2010; 3exs, 川西市一庫ダム, 7-X-2003; 2exs, 神戸市藍那, 12-VII-2002.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 水辺周辺に生息する.

14. セダカコミズギワゴミムシ *Elaphropus nipponicus* (Habu & Baba, 1967)

【標本記録】3exs, 豊岡市岩井, 12-X-2011; 朝来市八代峠, 21-V-2000; 5exs, 香住町小原, 10-VII-2001; 5exs, 新宮町角亀峠, 25-IV-1999; 3exs, 神戸市藍那, 12-VII-2002; 6exs, 西宮市武田尾, 7-VIII-1998; 2exs, 洲本市成相, 12-X-2002.

日本では本州, 九州に分布する. 樹林林床や林縁部の落葉下に生息する.

チビカワゴミムシ属 Genus *Tachyta*

日本では2種が知られており, 県内では以下の1種を確認した.

15. クロチビカワゴミムシ *Tachyta (Tachyta) nana* (Gyllenhal, 1810)

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 神戸市藍那 [高橋寿郎, 1979]; 篠山町雨石山 [林靖彦ほか, 1995]; 夢前町雪彦山・川西市笹部 [安井通宏, 2012].

【標本記録】2exs, 宍粟市赤西溪谷, 2-V-2016; 5exs, 多可町千ヶ峰, 24-III-2008

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 林内の樹皮下に生息する.

ミズギワゴミムシ族 Tribe *Bembidiini*

ウミミズギワゴミムシ属 Genus *Sakagutia*

以下の1種が知られている.

16. ウミミズギワゴミムシ *Sakagutia marina* Ueno, 1954

【文献記録】神戸市東垂水 [吉武啓ほか, 2011]; 神戸市東垂水 [安井通宏, 2012].

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は神戸. 潮間帯に限って生息する種類で, 筆者の経験では他の汽水性種が主に活動する砂泥・砂礫の干潟

では見られず, 礫が堆積した汽水環境に限って見られる. 全国的に生息地が限られている. 県下では神戸市東垂水において1960年前後に灯火採集で得られた比較的多くの標本が残されているようだが, 近年の記録はない. Sasakawa (2007) は本種の所属を *Bembidion* に移し, 種小名がシノニムとなるため, *Bembidion umi* Sasakawa, 2007 として新たに記載しているが, ここでは Löbl・Smetana (2003) に従った.

ミズギワゴミムシ属 Genus *Bembidion*

日本では100種以上が知られている大きな属で, 県内では以下の29種が確認された.

17. キバナガミズギワゴミムシ *Bembidion (Desarmatocillen) yokohamae* (Bates, 1883)

【文献記録】仁川 [宝塚市, 1993]; 姫路市揖保川・赤穂市千種川 [稲畑憲昭, 2002]; 尼崎市善法寺藻川・伊丹市東園田町藻川 [安井通宏, 2012].

【標本記録】16exs, 加古川市加古川, 6-X-2007; 10exs, 御津町(揖保川), 10-X-2009; 12exs, 赤穂市赤穂(千種川), 4-VII-2011; 23exs, 姫路市夢前川, 15-VIII-2009.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は Kawasaki near Yokohama. この種も汽水性の種類で干潮時には砂泥干潟で活発に活動し, 満潮時は海底に潜んでいる. 県下では瀬戸内海に注ぐ河川の下流部や河口域の潮間帯で比較的多く見られるが, 日本海側の河川では確認できていない. 図鑑等では *Armatocillen* 属として扱われることが多いが, ここでは Löbl・Smetana(2003) に従った.

18. アトモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Notaphocampa) niloticum batesi* Putzeys, 1875

【文献記録】氷上郡 [山本義丸, 1958]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 浜坂町 [高橋匡, 1982]; 芦屋市芦屋川河口 [河上康子・稲畑憲昭, 2000]; 猪名川・川西市大和・神戸市東垂水・甲東園・南淡町・波賀町音水溪谷 [安井通宏, 2012].

【標本記録】1ex, 宍粟市音水湖, 21-IX-2014; 1ex, 加古川市権現湖, 30-VIII-2014; 2exs, 篠山市福住, 1-IX-2013; 1ex, 中町徳畑ダム, 24-VII-2002; 3exs, 相生市三濃山, 25-IX-2010; 2exs, 三木市シビレ山, 4-V-2002; 5exs, 小野市久我町加古川, 19-X-2010; 3exs, 上郡町神明寺, 16-X-2011; 3exs, 川西市一庫ダム, 16-VII-2016; 2exs, 稲美町ブドウ園地池, 10-VI-2012; 4exs, 神戸市道場武庫川, 18-VI-1994; 6exs, 三原町論鶴羽山, 29-IX-2001.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 水辺周辺に多いが耕作地環境で見られることもある. どこでも個体数は多い.

19. ヨツボシケシミズギワゴミムシ *Bembidion (Bembidion) paediscum* Bates, 1883

【文献記録】西脇市津万の河原 [兵庫県昆虫同好会事務局, 2001].

日本では北海道, 本州に分布する. 北日本の種類と思っていたが上記の記録があった. 私は本種を近畿地方で見たことがないが, 中国地方の記録もあることから, 少ないながら分布しているのかも知れない. 画像の標本は北海道産.

20. ガロアミズギワゴミムシ *Bembidion (Sinechostictus) galloisi* Netolitzky, 1938

【文献記録】養父市大屋氷ノ山 [安井通宏, 2012].

【標本記録】1ex, 宍粟市音水, 19-VIII-2010; 1ex, 波賀町堀, 1-VIII-1998.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 平地では余り見られず, 主として山地帯の水辺に生息する. 灯火にもよく飛来する. やや大型の種類で, 背面の光沢が強く, 複眼が顕著に突出する.

21. オオルリミズギワゴミムシ *Bembidion (Asioperiphus) amaenum* Bates, 1883

【文献記録】甲東園 [安井通宏, 2012].

日本では北海道, 本州, 四国に分布する. 基産地は北海道函館. 河川周辺で見られるが個体数は少ない.

22. フタモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Asioperiphus) semilunium* Netolitzky, 1914

【文献記録】氷上郡 [山本義丸, 1958]; 三原郡慶野松原・洲本市安乎町・津名郡常隆寺山 [高橋寿郎, 1998]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 甲東園・宝塚駅・大河内町川上・川西市大和・村岡町市原・猪名川町内馬場 [安井通宏, 2012].

【標本記録】1ex, 養父市ハチ高原, 14-IX-2013; 2exs, 養父市建屋奥山, 26-V-2000; 1ex, 市島町竹田川, 8-V-1999; 1ex, 香住町小原, 10-VIII-2001; 1ex, 三木市シビレ山, 4-V-2002; 1ex, 大屋町新津, 28-IX-1997; 1ex, 三原町成相, 24-XI-2002; 10exs, 上郡町千種川, 10-V-2003.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 本種は従来ツマキミズギワゴミムシの和名で親しまれていたが, Morita(1991)はこの種の隠匿種(次種 *bandotaro*)を区別して新種記載した際に, 本種の和名も標記のように変更した.

23. オオフタモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Asioperiphus) bandotaro* Morita, 1991

【文献記録】甲東園・川西市笹部 [安井通宏, 2012].

【標本記録】3exs, 上郡町千種川, 10-V-2003; 1ex, 新宮町栗栖川, 13-V-2012; 6exs, 西宮市武田尾, 20-IX-2016; 1ex, 神戸市山田, 7-V-1987.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. Morita(1991)は *Bembidion semilunium* として扱われていたもののなかから, 本種を区別して新種として記載した. 基産地は茨城県取手市. 本種は前種フタモンミズギワに比べて, やや大型な個体が多く, 翅端の斑紋が大きく, アンテナ1~3節・4節基半・肢全体が淡赤褐色(フタモンミズギワはアンテナ各節・腿節基半が暗色となる), アンテナ柄節は両側並行かわずかに湾曲する(フタモンミズギワでは先に向かってやや広がる), ♂交尾器中央片の先端部形状などの違いによって区別される.

24. ハマベミズギワゴミムシ *Bembidion (Asioperiphus) semilunium* Bates, 1883

【文献記録】尼崎市善方寺 [安井通宏, 2012].

【標本記録】4exs, 尼崎市善方寺藻川, 13-X-2012.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 汽水性の種類で, 主にヨシ原など砂地干潟に生息する. 前胸背の基部は著しく幅広く, 上翅は褐色傾向である.

25. アオミズギワゴミムシ *Bembidion (Asioperiphus) chloreum* Bates, 1873

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 淡路慶野松原・川西市大和・笹部・明石市林崎町 [安井通宏, 2012]

【標本記録】1ex, 上郡町柏野千種川, 10-V-2003; 1ex, 神戸市山田, 7-V-1987; 2exs, 加古川市権現湖, 31-V-1992.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は中国. 水辺に生息するが県下ではあまり多くない. ハマベミズギワゴミムシに少し似ているが体型はやや細長い.

26. アトキミズギワゴミムシ *Bembidion (Terminopharus) consummatum* Bates, 1873

【文献記録】Hiogo [Bates, 1873]

【標本記録】1ex, 市島町竹田川, 8-V-1999; 1exs, 赤穂市高雄(千種川), 11-X-2014.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は神戸. 河川水辺に生息するが比較的環境の良い場所で得られる傾向がある. 前胸背の後半が強く狭められる.

27. ヒメモンナガミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphanes) thermoides* Nakane, 1963

【標本記録】1ex, 出石町, 11-X-1994; 1ex, 香住町小原, 10-VIII-2001; 1ex, 美方町秋岡, 14-VIII-2001.

日本では本州に分布する. 基産地は大坂南刀根山. 県下では少ない.

28. ウスモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Ocydromus) cnemidotum* Bates, 1883

【文献記録】氷の山 [高橋匡, 1982]; 猪名川町木津・川西市笹部・



西畦野 [安井通宏, 2012].

【標本記録】10exs, 養父市八鹿町円山川, 24-IX-2011; 4exs, 香住町小原, 10-VII-2001; 11exs, 揖保川町半田, 25-IV-2014; 1ex, 市島町竹田川, 8-V-1999; 1ex, 上郡町千種川, 10-V-2003; 10exs, 神戸市北区道場武庫川, 30-IV-2011; 4exs, 西宮市武田尾, 21-IV-2002; 2exs, 伊丹市軍行橋, 27-X-2012; 12exs, 加古川市加古川下流, 28-V-2010; 1ex, 小野市万願寺川, 2-V-1999.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は北海道札幌市. 主に河川中下流の水辺に広く見られ, 県下ではどこでも個体数が大変多い. *Bembidion chujoianum* Jedlicka, 1962 は本種のシノニムとされる.

29. ウメヤルリミズギワゴミムシ *Bembidion (Ocydromus) umeyai* Habu, 1959

【標本記録】18exs, 神戸市道場生野 (武庫川), 4-IV-2015.

日本では北海道, 本州, 四国に分布する. 基産地は札幌市定山溪. 北日本に分布する種類と思われていたが兵庫県を含む近畿地方にも分布することがわかった. 他のミズギワゴミムシのような河川水際の砂礫隙間には生息せず, 岩盤の割目や窪みなどに生息していた. このようなやや特殊な習性や生息環境については, すでに亀澤 (2011) によって東京都奥多摩町で観察され報告されている. なお, 基産地の北海道産では背面の色彩が明るく美しいが, 武庫川を含む近畿地方では暗い個体が多くなり, 地域による変異が示唆される. 本種の同定については森田誠司さんに確認いただいた.

30. ヨツボシミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) morawitzi* Csiki, 1928

【文献記録】氷上郡 [山本義丸, 1958]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 三原郡鮎屋・論鶴山・洲本市安乎町・津名郡松帆浦 [高橋寿郎, 1998]; 家島本島 [上田尚志, 1981]; 扇ノ山 [高橋匡, 1982]; 淡路島慶野松原・川西市大和・東畦野・神戸市東垂水・甲東園・西宮市仁川・宝塚駅 [安井通宏, 2012].

【標本記録】1ex, 養父市ハチ高原, 30-VIII-2011; 1ex, 豊岡市岩井, 12-X-2011; 1ex, 佐用町千種高原, 6-VII-1997; 1ex, 神戸市北区道場武庫川, 30-IV-2011; 1ex, 加古川市権現湖, 31-V-1992; 1ex, 神戸市藤原台, 25-VI-1987; 2exs, 三原町論鶴羽山, 30-X-1999.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 本種は水辺に限らず耕作地やや乾燥した環境にも出現する.

31. カギモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) poppii pohlai* Kirschenhofer, 1984

【文献記録】洲本市安乎町 [高橋寿郎, 1998]; 淡路島淡路町岩屋 [河上康子・稲畑憲昭, 2000].

日本では北海道, 本州に分布する. 本種も北日本に限って分布すると思われていたが, 淡路島における複数

の記録があった. 私は県下では見たことがない. 画像の標本は北海道産.

32. キアシルリミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) trajectum* Netolitzky, 1939

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 村岡町市原・西宮市武田尾・川西市大和 [安井通宏, 2012].

【標本記録】1ex, 市島町竹田川, 8-V-1999; 1ex, 上郡町千種川, 10-V-2003; 2exs, 宝塚市武田尾武庫川, 30-IV-2011; 5exs, 神戸市道場武庫川, 4-IV-2015; 1ex, 小野市万願寺川, 2-V-1999.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 河川水辺に見られ個体数は比較的多い.

33. ニッコウミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) misellum* Harold, 1877

【文献記録】扇ノ山・氷ノ山 [高橋匡, 1982]; 波賀町赤西・神戸市甲東園・美方町 Sonae [安井通宏, 2012].

【標本記録】4exs, 波賀町音水, 11-XI-1987; 2exs, 宍粟市赤西, 2-V-2009; 6exs, 香美町ハチ北高原, 19-V-2012; 6exs, 豊岡市日高町蘇部林道, 14-IX-2013; 2exs, 朝来町澤, 8-V-1999; 6exs, 神河町千町ヶ峰, 27-VIII-2015; 5exs, 篠山市鏝市, 2-VII-2016; 5exs, 神河町砥峰高原, 10-IV-2010; 2exs, 神河町川上, 23-VI-2012; 3exs, 生野町段ヶ峰, 14-IV-2014.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. やや山地性で水辺に限らず, 湿った林床などでも出現する.

34. ミヤマミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) sanatum* Bates, 1883

【標本記録】1ex, 香住町小原, 10-VIII-2001.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 河川水辺に生息するが個体数は少ない.

35. ヒラタアオミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) pseudolucillum* Netolitzky, 1938

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 扇ノ山 [高橋匡, 1982]; 猪名川町・宍粟市音水 [安井通宏, 2012].

【標本記録】1ex, 香住町小原, 10-VIII-2001; 1ex, 宍粟市戸倉峠, 23-VII-2011; 12exs, 宍粟市赤西溪谷, 10-VIII-2010; 5exs, 宍粟市坂の谷, 6-VIII-2016; 3exs, 養父市杉が沢, 1-VI-2012; 6exs, 神河町峰山高原, 26-V-2012; 5exs, 篠山市鏝市, 2-VII-2016; 2exs, 一宮町暁晴山, 10-VII-2015; 9exs, 朝来市生野白口, 2-X-2010; 2exs, 生野町銀山湖, 26-V-2001; 2exs, 生野町段ヶ峰, 26-V-2001; 2exs, 佐用町秋里川, 6-VII-2014; 1ex, 伊丹市軍行橋, 27-X-2012; 7exs, 三田市後川, 2-VIII-2011.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 河川の中流から上流部にかけて生息し, 溪流環境では本種が優占する. 大きさはハコネミズギワと似ているが, 本種の方が光沢が強く色彩が明るいことで識別できる.

36. オオアオミズギワゴミムシ *Bembidion (Trichoplataphus) lissonotum* Bates, 1873

【文献記録】Hiogo[Bates,1873]; 氷上郡 [山本義丸,1958]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 扇ノ山 [高橋匡,1982]; 猪名川町・神戸市押部谷・西宮市塩瀬・猪名川町木間生 [安井通宏,2012].

【標本記録】3exs, 神戸市有野町,15-IX-1999; 2exs, 青垣町 (加古川),2-X-2010; 5exs, 篠山市鏑市,2-VII-2016; 5exs, 神戸市道場武庫川,4-IV-2015; 3exs, 相生市三濃山,25-IX-2010.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は兵庫県. 山地の河川や溪流など水辺に生息し個体数が多い. やや大型で明るい色彩をしていることで, 野外でも識別しやすい.

37. クロミズギワゴミムシ *Bembidion (Trichoplataphus) oxygymma* Bates, 1883

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 氷ノ山 [高橋匡,1982]; 城崎町気比 [安井通宏,2012].

【標本記録】2exs, 神戸市道場武庫川,28-IX-1996; 1ex, 市島町竹田川,8-V-1999.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は熊本・盛岡. 河川水辺に生息し個体数も比較的多い. 青味のある黒色で平たい感じのする種類である.

38. マルミズギワゴミムシ *Bembidion (Trichoplataphus) eurygonum* Bates, 1883

【文献記録】猪名川・西宮市武庫川 [安井通宏,2012].

【標本記録】1ex, 神戸市道場武庫川,28-IX-1996; 1ex, 市島町竹田川,8-V-1999.

日本では本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は長崎・熊本. 河川水辺に生息する. 県下では少ない. 次種に似ているが体型がやや幅広く, 特に前胸背で顕著である.

39. ヒョウゴミズギワゴミムシ *Bembidion (Blepharoplataphus) hiogoense* Bates, 1873

【文献記録】Hiogo[Bates,1873]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 西宮市武庫川・宝塚 [安井通宏,2012].

【標本記録】3exs, 市島町竹田川,8-V-1999; 2exs, 新宮町栗栖川,13-V-2012; 2exs, 神戸市道場武庫川,28-IX-1996; 20exs, 西宮市武田尾,30-IV-2011; 4exs, 三木市美能生川,21-V-2007; 6exs, 加古川市加古川下流,28-V-2010; 9exs, 揖保川町半田,25-IV-2014; 1ex, 加西市段下町,6-V-2001.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は兵庫県. 河川水辺に生息し, 県下ではいずれの河川でも個体数が多い.

40. ヒメスジミズギワゴミムシ *Bembidion (Plataphus) piculatum* Bates,1883

【文献記録】川西市・西宮市盤滝・猪名川 [安井通宏,2012].

【標本記録】2exs, 赤穂市有年,3-XI-2014; 2exs, 養父市八鹿町伊佐 (円山川),24-IX-2011.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は札幌, 岩木山, 仙台. 河川水辺に生息するが県下では少ない. 体型がやや特異で, 野外でも識別しやすい.

41. ハコネミズギワゴミムシ *Bembidion (Plataphus) lucillum* Bates, 1883

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 川西市笹部 [安井通宏,2012].

【標本記録】1ex, 青垣町加古川,2-X-2010; 5exs, 篠山市鏑市,2-VII-2016; 5exs, 神戸市道場武庫川,4-IV-2015; 2exs, 生野町銀山湖,26-V-2001; 10exs, 宍粟市赤西溪谷,10-VIII-2010; 2exs, 一宮町暁晴山,10-VII-2015; 2exs, 香住町矢田川河口,5-V-2012; 2exs, 宍粟市赤西溪谷,2-V-2010; 2exs, 香住町矢田川河口,5-V-2012.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は箱根. 河川水辺に生息し, 山地で個体数が多い.

42. ドウイロミズギワゴミムシ *Bembidion (Bracteon) stenoderum* (Bates, 1873)

【標本記録】2exs, 城崎町,6-VIII-1992; 6exs, 豊岡市出石町出石川,29-VIII-2011; 1ex, 宝塚市武田尾,12-VIII-1994.

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 基産地は大阪. 河川水辺の砂地環境に生息し, 活発に飛翔する.

43. コホソトビミズギワゴミムシ *Bembidion (Cylindrobracteon) aeneipes* Bates, 1873

【標本記録】1ex, 城崎町,6-VIII-1992.

日本では北海道, 本州に分布する. 河川水辺の砂地環境に生息し, 活発に飛翔する.

メダカチビカワゴミムシ属 Genus *Asaphidion*

日本では3種が知られており, 県内では以下の1種を確認した.

44. メダカチビカワゴミムシ *Asaphidion semilucidum* (Motschulsky, 1862)

【文献記録】三原郡論鶴山 [高橋寿郎,1998]; 豊岡市 [高橋匡,1982]; 神戸市六甲山 [八木剛ほか,2002]; 尼崎市富田 [安井通宏,2012]

日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 河川に限らず, 樹皮下や朽木で見られることが多いが, 県下では比較的少ない.

兵庫県から2族10属44種のミズギワゴミムシ類のデータを整理して記録した。他府県の様子はどうか。安井通宏・初宿成彦(2008)は大和川水系のミズギワゴミムシ類の博物館収蔵標本と調査活動で得られたデータを整理し30種を記録している。また、安井通宏・初宿成彦(2011)は同様な方法で淀川水系でのミズギワゴミムシ類40種を報告している。さらに府県目録を調べてみると、京都府全域で39種、岡山県全域で43種が記録されており、兵庫県内の記録もこれらと近い数値となっている。なお、このほかに以下の2種が記録されているが、従来の分布域を考慮して掲載を保留とした。

- ・ウスモンケシミズギワゴミムシ *Bembidion (Diplocampa) assimile* Gyllenhal, 1810  
(猪名川; 安井ほか, 2011)
- ・アオマルガタミズギワゴミムシ *Bembidion (Plataphus) gebleri* Fassati, 1954  
(西宮市武庫川河口; 河上康子・稲畑憲昭, 2000)

河原の小石を攪乱するとたくさん見つかるミズギワゴミムシだが、全部同じ種類に見えても、持ち帰って調べると意外と多くの種類が含まれていることもある。河川敷の環境の多様性や堤内地の様子、水質などが、そこに生息するミズギワゴミムシ相と大きな関係がありそうに思える。

最後に、日頃ご指導いただいている森田誠司さん(東京都)に感謝申し上げる。

#### 引用文献

- Bates, H. W., 1873. On the Geodephagos Coleoptera of Japan. Trans. Ent. Soc. London, Part II, 219-322.
- Bates, H. W., 1883. Supplement to Geodephagos Coleoptera of Japan. Trans. Ent. Soc. London, Part III, 205-290.
- 林靖彦ほか, 1995. 1989年度、雨石山に於ける甲虫相調査報告書. Kasuga, 11;3-7.
- 堀田久, 1959. 淡路島産甲虫類目録(2). 兵庫生物, 3(5)376-378.
- 堀田久, 1976. 先山の昆虫相(1). Parnassius, 16;11-32.
- 亀澤洋, 2011. 東京都におけるウメヤルリミズギワゴミムシの採集例. Sayabane N. S. 3:25-26.
- 河上康子・稲畑憲昭, 2000. 大阪湾沿岸地域における海浜・河口汽水域の地表性甲虫調査. 関西甲虫談話会資料第16号:29pp.
- 岸田剛二・辻啓介, 1975. 兵庫県多紀郡篠山町附近の歩行虫. きべりはむし, 4(1/2);16-25.
- 楠井善久, 1992. 沼島の甲虫採集記録. 南紀生物, 34(2):103-104.
- 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集, 1989. 日本産昆虫総目録.
- 兵庫昆虫同好会事務局, 2001. 多可郡の甲虫相. きべりはむし, 29(1);10-27.
- Löbl・Smetana, 2003. Catalogue of Palaearctic Coleoptera. Apollo Books.
- 松尾隆人, 2003. 多可郡中町の自宅灯火で得た甲虫. きべりはむし, 31(1);48-51.
- 森田誠司, 1986. ニセツマキミズギワゴミムシについて. 昆虫学評論, 41(1):67-72.
- Morita, S., Notes on the Bembidiinae(Carabidae) of Japan. III. *Bembidion semilunium* Netolitzky and its New Relative. Elytra, 19(1):115-123.
- 中根猛彦, 1978. 日本の甲虫(47-52). 昆虫と自然, 13(2)-13(9).
- 仲田元亮, 1978. 能勢の昆虫.
- 新家勝, 1988. 宝塚大橋の甲虫(その1). きべりはむし, 16(1):17-19.
- 関公一, 1934. 御影町附近産の甲虫目録. 昆虫界, II(7):41-43.
- 安井通宏, 2012. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, 初宿成彦編, (44):37-56.
- 安井通宏・初宿成彦・大阪市立自然史博物館淀川水系調査グループ甲虫班, 2011. 淀川水系調査流域におけるミズギワゴミムシ相と分布状況. 大阪市立自然史博物館研究報告第65号.
- 安井通宏・初宿成彦・大阪市立自然史博物館淀川水系調査グループ甲虫班, 2008. 大和川水系のミズギワゴミムシ相と分布状況. 大阪市立自然史博物館研究報告第62号.
- 高橋匡, 1982. 但馬地方昆虫目録(予報第7報). Iratsume, 6;57-76.
- 高橋寿郎, 1979. 甲虫類, 藍那地区自然環境調査. 兵庫県自然保護協会.
- 高橋寿郎, 1998. 淡路島産甲虫目録(1). Parnassius, 47;1-9.
- 宝塚市, 1993. 宝塚の昆虫II.
- 吉武啓・栗原隆・吉松慎一・中谷至伸・安田耕司, 2011. 研究資料農業環境技術研究所所蔵の土生永申コレクション(昆虫綱;コウチュウ目;オサムシ科)標本目録. 農業環境技術研究所研究報告, (28).
- 八木剛ほか, 2002. 六甲山のブナ林とその周辺の昆虫相. きべりはむし, 30(1);1-45.
- 八木剛ほか, 2003. 砥峰高原の昆虫相. きべりはむし, 31(1);1-9.
- 山本義丸, 1958. 兵庫県氷上郡昆虫目録, 氷上の自然第3集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室.





2. チビミズギワゴミムシ



3. ウスイロコミズギワ  
ゴミムシ



4. クロオビコミズギワ  
ゴミムシ



5. ウスオビコミズギワ  
ゴミムシ



6. トカラコミズギワ  
ゴミムシ



7. アトオビコミズギワゴミムシ



8. クリイロコミズギワゴミムシ



9. ウスモンコミズギワゴミムシ



10. ヨツモンコミズギワゴミムシ



11. ヒラタコミズギワゴミムシ



12. チャイロコミズギワ  
ゴミムシ



13. ケイロマルコミズギワ  
ゴミムシ



14. セダコミズギワ  
ゴミムシ



15. クロチビカワゴミムシ





16. ウミズギワ  
ゴミムシ



17. キバナガミズギワゴミムシ



18. アトモンミズギワ  
ゴミムシ



19. ヨツボシケシミズギワ  
ゴミムシ



20. ガロアミズギワ  
ゴミムシ



21. オオルリミズギワ  
ゴミムシ



22. フタモンミズギワゴミムシ



23. オオフタモンミズギワ  
ゴミムシ



24. ハマベミズギワゴミムシ



25. アオミズギワゴミムシ



26. アトキミズギワゴミムシ



27. ヒメモンナガミズギワ  
ゴミムシ



28. ウスモンミズギワ  
ゴミムシ



29. ウメヤルリミズギワ  
ゴミムシ



30. ヨツボシミズギワ  
ゴミムシ



31. カギモンズギワ  
ゴミムシ



32. キアシルリミズギワ  
ゴミムシ



33. ニッコウミズギワ  
ゴミムシ



34. ミヤマミズギワゴミムシ



35. ヒラタアオミズギワ  
ゴミムシ



36. オオアオミズギワ  
ゴミムシ



37. クロミズギワゴミムシ



38. マルミズギワゴミムシ



39. ヒョウゴミズギワ  
ゴミムシ



40. ヒメスジミズギワ  
ゴミムシ



41. ハコネミズギワ  
ゴミムシ



42. ドウイロミズギワ  
ゴミムシ



43. コホソトビミズギワゴミムシ



44. メダカチビカワゴミムシ